

2016年10月28日

経済レポート

2016年9月の労働力調査 / 一般職業紹介状況の結果

～ 労働需給はタイトな状態が続く～

調査部 研究員 土志田るり子

9月の完全失業率は低下

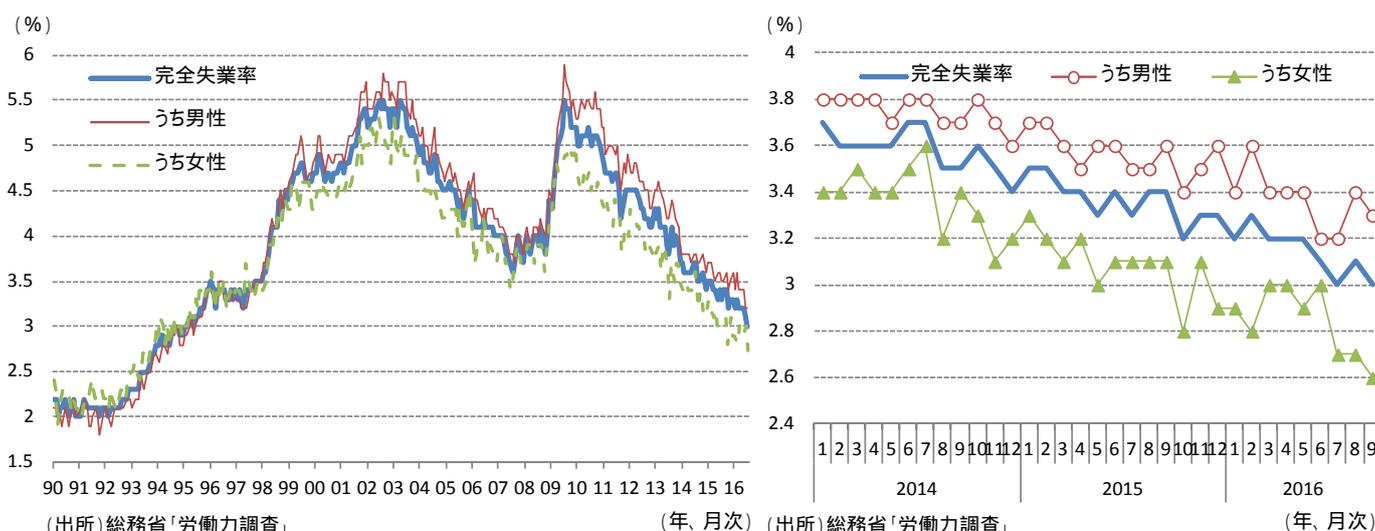
総務省「労働力調査」によると、9月の完全失業率(季節調整値)は前月から0.1%ポイント低下の3.0%となった。就業者が前月から15万人減少したものの、完全失業者も8万人減少したことが完全失業率を低下させた(労働力人口は24万人の減少)。なお、雇用者数は前月差+18万人と増加した。

性別に見ると、男性の完全失業率(季節調整値)は前月から0.1ポイント低下の3.3%となった。就業者が前月差-1万人となったが、完全失業者も同-4万人と、ともに減少した(労働力人口は同-5万人と減少)。なお、就業者が減少する中でも、雇用者数は前月差+17万人と増加した。

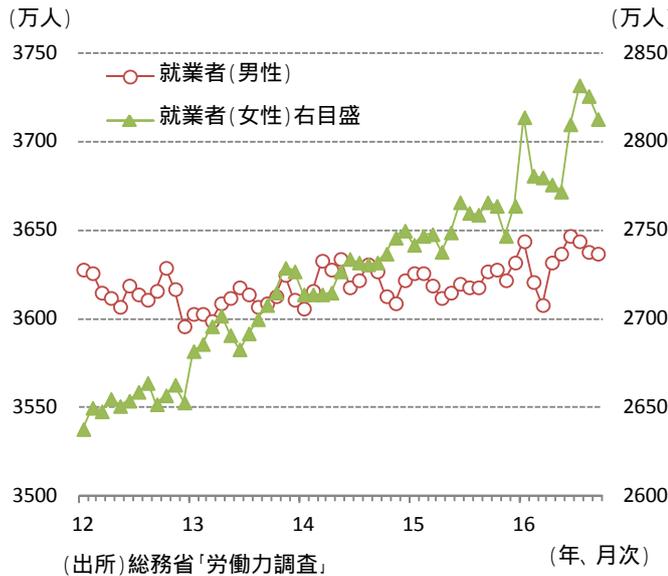
女性の完全失業率(季節調整値)も前月から0.1%ポイント低下し、2.6%となった。就業者が13万人減ったが、完全失業者も4万人減っている(労働力人口は前月差-17万人と減少)。なお、雇用者数は前月から横ばいだった。

足元では、円高や内外需要の弱さを受けて企業業績は悪化傾向にあるが、完全失業率は低水準を維持するなど、労働需給はタイトな状態が続いている。

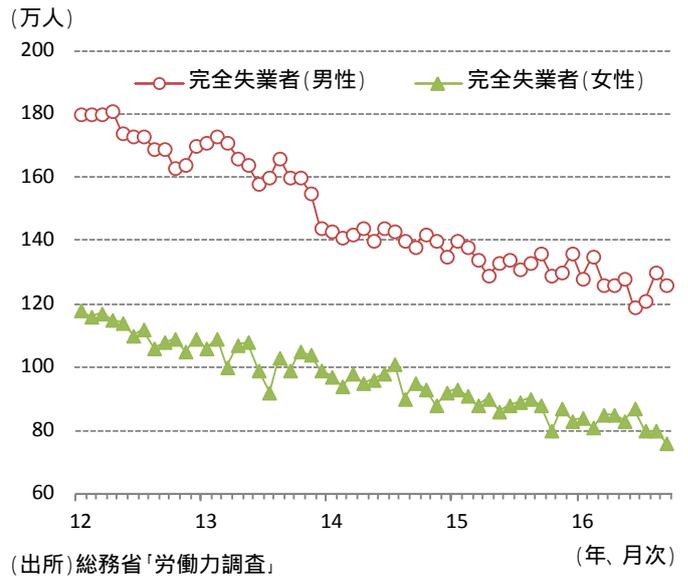
図表1 . 完全失業率(季節調整値)の推移



図表 2. 就業者 (季節調整値) の推移



図表 3. 完全失業者 (季節調整値) の推移



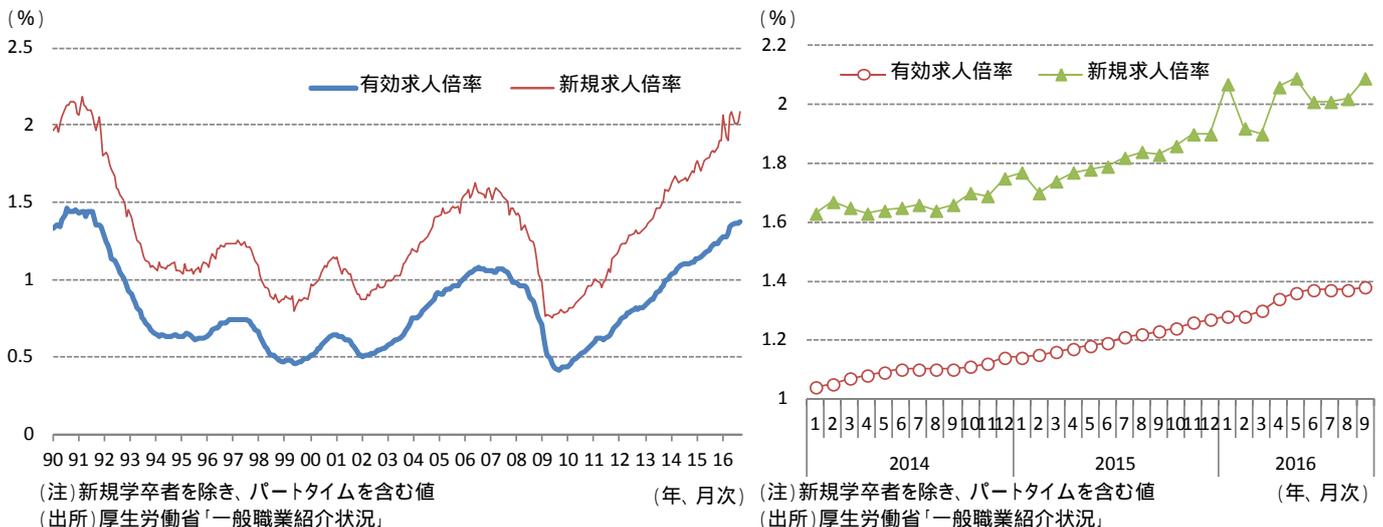
9月の有効求人倍率は上昇

厚生労働省「一般職業紹介状況(職安統計)」によると、9月の有効求人倍率(季節調整値、含むパートタイム)は前月から0.01ポイント上昇の1.38倍となった。有効求人数が前月比+0.4%と増加した一方、有効求職者数が同-0.6%と減少し、有効求人倍率は上昇した。

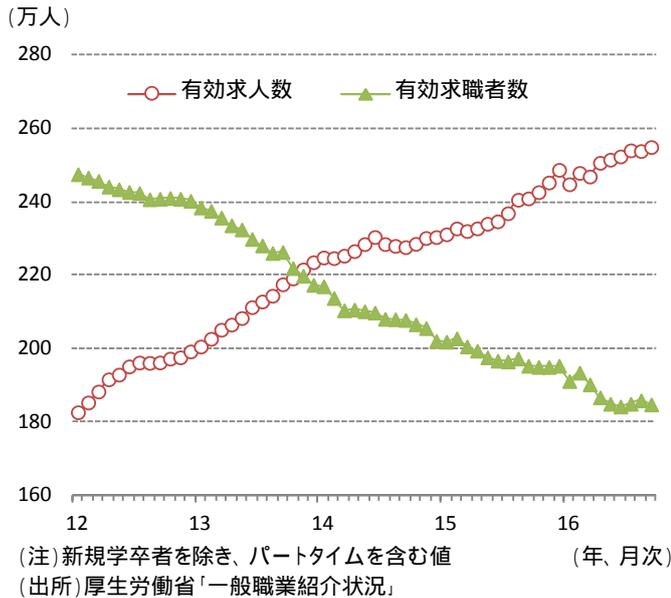
また、新規求人倍率(季節調整値、含むパートタイム)は前月から0.07ポイント上昇し、2.09倍となった。新規求人数が前月比+0.9%と増加した一方、新規求職申込件数が同-2.8%と減少し、新規求人倍率は上昇した。

9月は、パートタイムを除いた統計でも、有効求人倍率、新規求人倍率ともに前月から上昇した。10月からの社会保険の適用拡大を前に、求人側のパートタイム労働者の人手不足の懸念や、労働者が労働時間の短縮や延長など、働き方を再検討する環境のなかで、全体として求人が増加した可能性がある。

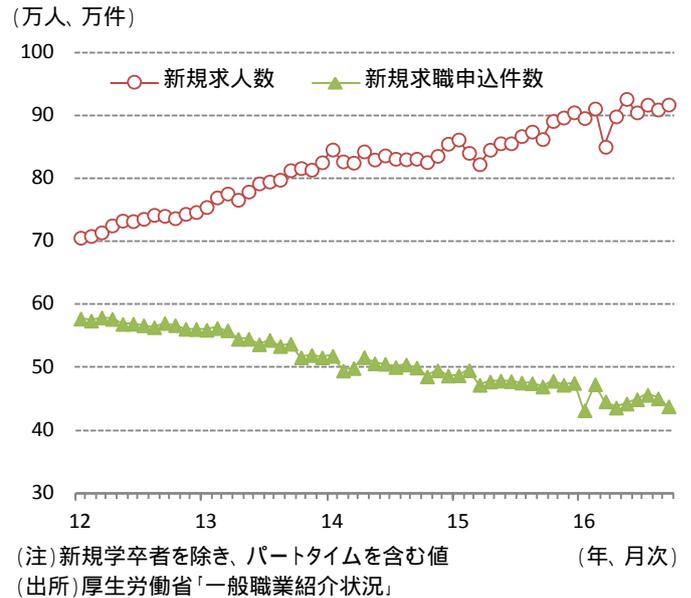
図表 4. 有効求人倍率および新規求人倍率の推移(季節調整値)



図表 5. 有効求職者および求人数の推移 (季節調整値)



図表 6. 新規求職者および求人数の推移 (季節調整値)



ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所: 三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。